

第6学年 国語科学習指導案

日 時 令和〇年〇月〇日()第〇校時

場 所 〇〇〇立〇〇小学校

6年〇組 児童数〇〇名

指導者 〇〇 〇〇〇

1 単元名 「1年生と6年生と一緒に楽しめる外遊びタイムの計画を立てよう」

(光村図書「国語六 創造」『みんなで楽しく過ごすために』)

2 単元の目標

- ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くことができる。 [知識及び技能](1)ア
- ・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することができる。 [思考力、判断力、表現力等]A 話すこと・聞くこと(1)ア
- ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。 [思考力、判断力、表現力等]A 話すこと・聞くこと(1)オ
- ・言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」

3 本単元で取り上げる言語活動

外遊びタイムの目的や条件に応じて、計画的に話し合う。

4 指導について

(1)児童について(省略)

(2)教材について

本教材は、目的や条件に応じて計画的に話し合うことをめあてとしている。「みんなで楽しく過ごすために」というテーマについて、グループで意見を交流して終わるだけでなく、試行錯誤しながら協働的に新たな課題を発見し、解決に導いていくことを目指す。

目的や条件に応じて計画的に話し合いをする力をつけるために、二種類の話合いを行う。一つ目は、「考えを広げる話合い」である。この活動では、友達の考えを理解するために質問をし、互いの意見を尊重して多くの考えを出すことが目的となる。二つ目は、「考えをまとめる話合い」である。この活動では、それぞれの意見の価値を認めた上で、「どの意見が目的や条件に最もふさわしいと考えるか」をグループで話し合って決定する。

この二つの話合いは、自分たちの考えが、話し合いの目的や条件にふさわしいかどうかを考え、お互いの意見を深めていく活動となる。話し合いの目的や条件を明確にすることで、自分たちで計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりする。

(3)指導について

話し合いが成立するための基盤として、話し手の意見を肯定的に受け止める聞き手の姿勢が大切となる。今回の学習においては、本教材に付随するコラム「伝えにくいことを伝える」を通して、相手を尊重する思いをもちながら、表情や口調に気を付けて表現することに留意することも伝える。誰しもが意見や考えを発信しやす

い雰囲気づくりを大切にしたい。

意見や考えを自分から友達に伝えることができるようにするために、質問するときのポイントや話型を活用する。自分の考えたことを伝える方法を知ること、話し合いが活発になり、個人やグループとしての意見が深まっていくと考えられる。話すときには、「いつ・どこで・だれが・何を・どのように」がはっきりしているかなど、具体的に内容を伝えることができるポイントを確認する。また、話型を使って話すことで、お互いの考えや意見を明確にしなが、話し合いを進める。

5 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。 (1)ア	①「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から課題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。 (A(1)ア) ②「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。 (A(1)オ)	①言葉を通じて積極的に人と関わり、目的や条件に応じて、よりよい解決に向けて見通しをもって話し合おうとしている。

6 指導計画と評価計画(全6時間)

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準、評価方法等
1	○話し合う目的を確認し、学習の見通しをもつ。	・「1年生と6年生が楽しめる外遊びの計画を立てる」という課題を設定することで、学習意欲を高める。	[態①] 発言 ○よりよい解決に向けて、見通しをもって話し合おうとしている様子の観察。
2 3	○話し合い時の役割分担を決め、グループごとに進行計画を立てる。	・「考えを広げる話し合い」と「考えをまとめる話し合い」の違いを意識して計画させる。 ・自分の主張・理由・根拠を整理して、ワークシートに書く。	[思・判・表①] ワークシート ○目的や意図、条件に応じて、自分の考えや話し合う内容を検討しているかの確認。

4	○みんなが参加できる話し合いの方法を理解する。	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 138 ページ「伝えにくいことを伝えよう」を読み、話し合いがうまくいかないときの対応方法を話し合う。 ・話し合いでがんばりたいことをワークシートに書く。 	<p>[知①] 発言・ノート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手とのつながりをつくる言葉の働きやその方法、効果に気付くことができているかの観察。
5 (本時)	○進行計画に沿って話し合いをし、それぞれの考えの共通点や相違点、問題点、改善点を明確にし、仮の結論をまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・疑問に思ったところを質問し、意見を聞いてもらった考えを伝えるなど、活発な話し合い活動ができるように意識させる。 ・目的や条件に照らし、互いの意見をよく聞くように意識させる。 	<p>[思・判・表②] 発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの中で、疑問に思ったことを質問したり、相手の意見から考えたことを伝えたりしながら、グループとして考えを深めているかの確認。
6	○グループで決まった仮の結論を全体で共有する。	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合った結果や感想、工夫した点などをクラスで伝え合い、学習をふり返る。 ・自分が意識したことや友達の話し合いの様子をふり返り、身に付いた力やこれから気を付けていきたいことについて考えさせる。 	<p>[思・判・表①] ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的や条件に応じて計画的に話し合うことについて、気を付けるポイントを意識しているかの確認。

7 本時の学習 第5時／全6時間

(1) 本時の目標

目的や条件に応じて計画に沿って話し合い、考えを広げたりまとめたりすることができる。

(2) 本時の展開

学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等 ○Bと判断できる状況 ●Cと判断する状況の手立て
○本時のめあてを確認する。		
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>考えを広げたりまとめたりする話し合いをしよう。</p> </div>		
○話し合いの目的と条件を確認し、活発な話し合いにするためのポイントを押さえる。	<ul style="list-style-type: none"> ・話し方や質問するときのポイントを再度確認し、活用していこうという意識をもたせる。 	

<p>○グループで話し合い活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループのメンバーがどのような課題意識をもっているのかを確認する。 ・目的や条件に照らして、互いの意見をよく聞くように意識させる。 ・どうしてその結論になったのかという理由と根拠も同時に示すように促す。 ・話し合いが活発にならないグループについては、話し方や質問するときのポイントをまとめたプリントを参考にしながら、互いの意見がより具体的になるような質問ができるように促す。 	<p>[思・判・表②] <u>発言</u></p> <p>○話し合いの中で、疑問に思ったことを質問したり、相手の意見から考えたことを伝えたりしながら、グループで考えを深めている。</p> <p>●「いつ・どこで・だれが・なにを・どのように」などがはっきりしているかなど、出てきた意見がより具体的になるような質問の仕方について一緒に考え、助言する。</p>
<p>○話し合いのふり返しを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの中で自分ができたことや、これから意識していきたいことをシートに書かせる。 	<p>[思・判・表②] <u>ふり返しシート</u></p> <p>○話し合いで自分のよかったところや次に頑張りたいことについて、具体的に記述している。</p> <p>●相手の意見を聞いた上で質問したり、自分の考えを伝えたりすることができた場面をグループの友達と一緒に検討する。</p>